



# 令和7年度鹿児島県公立学校教員採用選考試験実施要項

鹿児島県教育委員会

## 鹿児島県が求める教師像

- ☑ 心身ともに健やかで、明朗活発な教師
- ☑ 高い専門性と幅広い教養をもち、謙虚に学び続ける教師
- ☑ 情熱と使命感にあふれ、教育的愛情をもつ教師
- ☑ 人間性豊かでの確なコミュニケーション能力をもつ教師



HP「教員採用」↑

## 【出願から合格発表までのイメージ】

※出願の詳細はP2～4に掲載

### ① 出願登録 令和6年4月1日(月)～令和6年4月26日(金)17時

STEP 1

鹿児島県教育委員会HP「教員採用」にアクセス

STEP 2

電子申請システムによる登録・申請後、「願書」、「受験票」を印刷

STEP 3

「履歴書」作成 ※ 必要書類の様式は3月上旬にHP掲載

### ② 出願書類郵送 令和6年4月1日(月)～令和6年4月30日(火) (消印有効)

STEP 4

「願書」「履歴書」「返信用封筒」等を郵送

※ 特別選考や加点申請等を希望する場合は必要書類を同封

### ③ 1次試験 令和6年6月16日(日) 1次試験合格発表：令和6年7月12日(金)予定

### ④ 2次試験 令和6年8月2日(金)～令和6年8月13日(火)

## 合格発表

令和6年9月6日(金)予定

### 実施要項目次

第1 目的	・	P 2
第2 受験資格	・	P 2
第3 採用予定校種及び人数	・	P 2
第4 出願手続き等	・	P 2
第5 1次試験(筆記試験)	・	P 5
第6 特別選考・加点申請・ 大学院等進学希望者及び在学者の特例	・	P 6
第7 2次試験(面接・一部実技試験等)	・	P 11
第8 採用予定者名簿への登載・採用	・	P 12
第9 給与・休暇・研修等	・	P 12
第10 試験結果の情報提供	・	P 13

### 主な変更点

- 試験日程を約3週間早期化
- 59歳(昭和40年4月2日以降に生まれた者)まで受験可能
- 大学3年生以上対象「教職教養チャレンジ試験」を実施(要項は別途)
- 出願登録は電子申請(申請後、出願書類は郵送)

### 【願書等の送付・出願に関する問合せ先】

鹿児島県教育庁教職員課 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

小中学校人事管理係(小学校, 中学校, 養護教諭, 栄養教諭) TEL: 099-286-5267

県立学校人事管理係(高等学校, 特別支援学校) TEL: 099-286-5270

### 【電子申請に関する問合せ先】

電子申請システムヘルプデスク(平日9時から17時まで) TEL: 0120-470-570

## 第1 目的

鹿児島県公立学校教員採用の選考資料とするために実施する。

## 第2 受験資格

- 1 教育職員免許法による当該普通免許状を所有する者又は令和7年3月31日までに取得見込みの者  
注1~4  
〔「社会人特別選考」「スポーツ・芸術特別選考」は、教員免許状を有していなくても受験可能。合格後、審査の上、特別免許状を授与する。〕
- 2 昭和40年4月2日以降に生まれた者
- 3 地方公務員法第16条の欠格条項及び学校教育法第9条の欠格事由に該当しない者
- 4 県内どこにでも赴任できる者

### 注1 【高等学校「情報」の受験者（社会人特別選考を除く）】

高等学校の「情報」の普通免許状及び高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語のうち1教科以上の普通免許状を所有する者。

### 注2 【特別支援学校の受験者】

特別支援学校の教員普通免許状（盲・聾・養護学校の各教員普通免許状も可）を有する者で、かつ特別支援学校の各部（小学部・中学部・高等部）に相当する学校種・教科（科目）の普通免許状を所有する者。

ただし、採用予定者数に満たない場合は、小・中・高等学校の各受験校種に出願し、特別支援学校の教員普通免許状を有する者又は採用後に取得する意志のある者の中から選考。

### 注3 【養護教諭の受験者】

令和6年度中に実施される国家試験の合格により得られる資格を基礎として、養護教諭普通免許状を取得しようとする者は、取得見込みとみなさない。

### 注4 【栄養教諭の受験者】

令和7年3月31日現在において、栄養教諭免許状が交付されていない場合でも、栄養士免許証以外の所要資格を満たしている場合は受験可。なお、栄養士免許証については、令和7年3月31日以前に登録されたものを取得できる見込みであることが必要。

## 第3 採用予定校種及び人数

令和6年3月下旬、鹿児島県教育委員会のホームページに掲載

## 第4 出願手続き等

今年度から変更

### 【出願前に用意するもの】

- ・ インターネットに接続できるパソコン等の端末とプリンター又は出願手続き可能な環境
- ・ 送受信が可能なメールアドレス（「@pref.kagoshima.lg.jp」から受信できるように設定）
- ・ A4用紙（通常のコピー用紙を使用、ただし、カラー用紙や厚紙等を除く）

電子申請  
(出願登録)

令和6年4月1日(月)～  
令和6年4月26日(金) 17時

電子申請に関する問合せ先

電子申請システムヘルプデスク (TEL: 0120-470-570)

出願書類郵送

令和6年4月1日(月)～  
令和6年4月30日(火) 消印有効

※ やむを得ず電子申請による出願登録ができない場合（インターネット環境がない等）は、教職員課まで問い合わせること。

## 手続きの流れ, 提出書類

電子申請後, 願書, 履歴書等を郵送で提出

※ 電子申請の方法及び入力例, 必要書類の様式については, **令和6年3月上旬**に鹿児島県教育委員会ホームページ(以下HP)に掲載するので, 早めに確認し, 期限に余裕をもって申請すること。

### STEP 1 鹿児島県教育委員会HP「教員採用」へアクセス

<https://www.pref.kagoshima.jp/kyoiku/saiyo/index.html>



### STEP 2 電子申請システムによる出願登録・申請

「教員採用」情報

- ① 「教員採用」から「鹿児島県電子申請共同運営システム(e(いー)申請)」にアクセスし, 出願登録(利用者ID・パスワードの取得)後, 申請を行う。  
※ 詳細は, 別紙「電子申請の方法・願書等の作成手順」を参照すること(3月上旬掲載)。
- ② 電子申請後, 「願書」「受験票」をPDFで出力し印刷する。
- ③ 印刷した「願書」に写真(縦4cm, 横3cm)を貼付する。  
※ 写真は, 提出前3か月以内に撮影したもの(上半身, 脱帽, 正面。裏面に氏名記入)。
- ④ 「受験票」は, 6月上旬, HPに掲載される受験番号を記入し, 1次試験に持参する(受験番号は, 受験票に印字された「受付番号」をもとに確認)。

### STEP 3 履歴書等の作成

- ① 「履歴書」の様式をHPからダウンロードし, 必要事項を入力後印刷する(手書き可)。
- ② 特別選考及び加点申請等を希望する者は, 必要な様式をHPからダウンロードし, 必要事項を入力後印刷する(手書き可)。この他, 必要な証明書の写し等を準備する。

### STEP 4 出願書類郵送

受付は郵送のみ。持込不可

【提出用封筒に同封する書類】 ※ 次頁の「提出用封筒」の書き方参照

#### 全員

- (1) 願書 ※ 電子申請後, 申請内容をPDFに出力し印刷。写真を貼付する。(STEP2)
- (2) 履歴書 ※ HPから様式をダウンロードし, 必要事項を入力後印刷する(手書きも可)。(STEP3)
- (3) 試験結果通知用封筒(角形2号, 両面テープ付き, 490円分切手貼付)  
※ 宛名は, 電子申請後印刷した「受験票・返信用封筒宛名」の切り取り線から下半分を切り取り貼付。

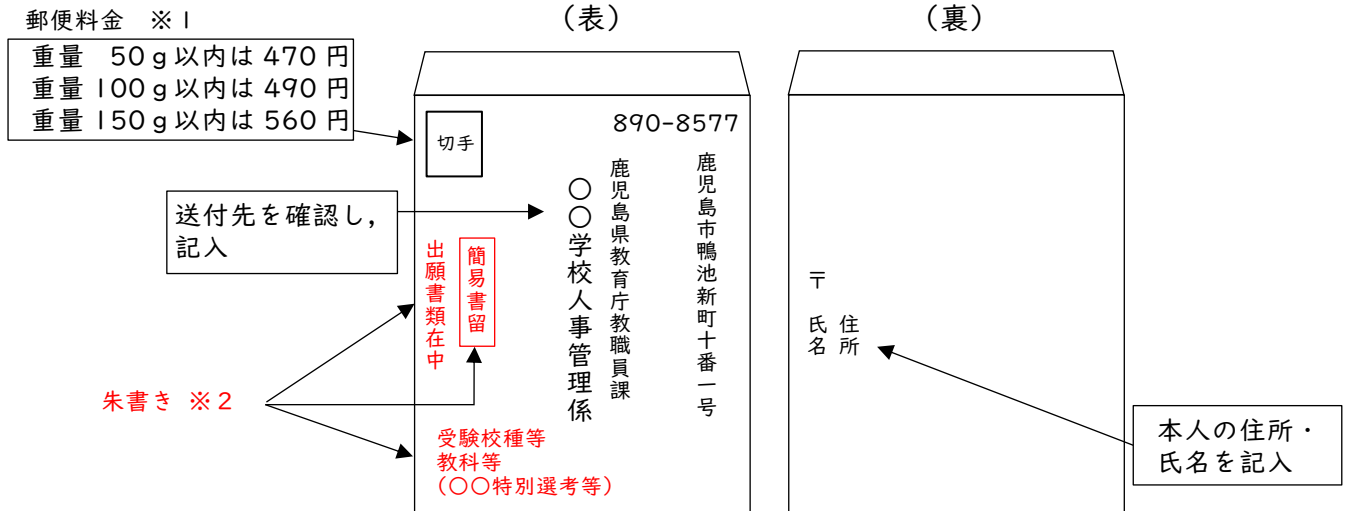
#### 該当者

- 特別選考(大学推薦特別選考を除く)  
「特別選考申請書」及び申請要件に該当することを証明できる書類等の写し
- 大学推薦特別選考  
「大学推薦特別選考申請書」の写し  
※ 希望する者は, 所属する大学等の学生課, 就職支援課等に問い合わせること
- 加点申請  
「加点申請書」及びそれぞれの申請要件に該当する免許状・資格証明書等の写し  
※ 見込みの者は不要
- 大学院等進学希望者及び在学者の特例申請  
「大学院等進学希望者及び在学者の特例申請書」及び申請要件に該当することを証明できる書類等の写し
  - ・ II区分名簿に登載された者(令和6年度教員採用選考試験)  
令和5年9月29日付けの試験結果通知書の写し
  - ・ 免許状更新講習を修了した者  
証明する書類の写し
  - ・ 受験に際して配慮を必要とする者  
「受験上の配慮申請書」

出願完了

## 提出用封筒の書き方

角形 2 号（角形 2 号：240mm×332mm）の封筒に以下の記入例を参考に宛名等を書き、必ず郵便局の窓口で「簡易書留」の受付をすること



※1 簡易書留は郵便局の窓口での受付。郵便料金を確認し切手を貼る。  
(重量 50g 以内の場合 470 円, 100g 以内の場合 490 円, 150g 以内の場合 560 円)

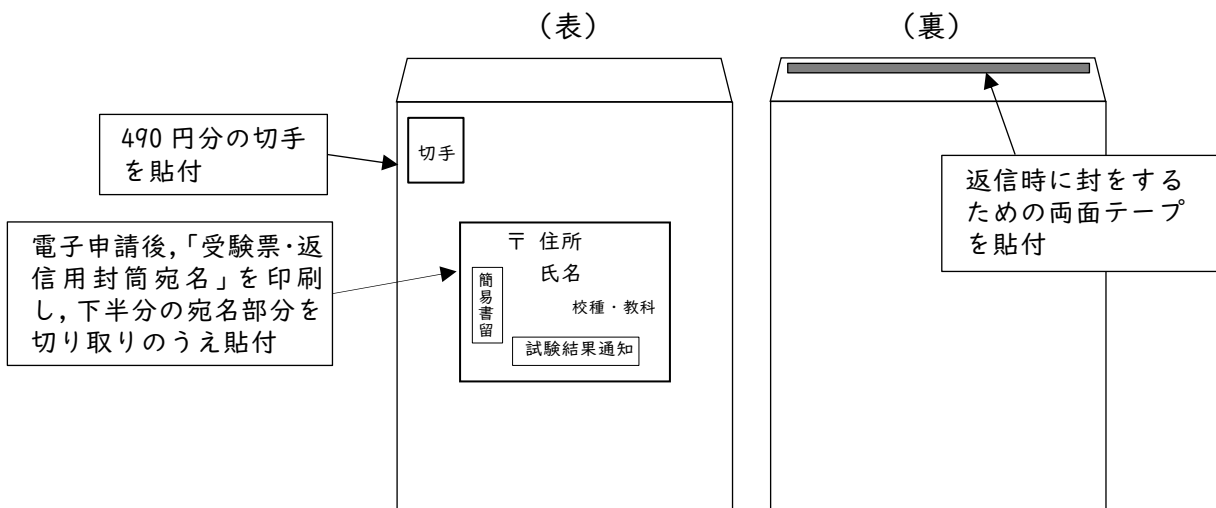
※2 朱書き事項

- ・ 「簡易書留」「出願書類在中」(「簡易書留」はスタンプ可)
- ・ 受験校種等(小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校, 養護教諭, 栄養教諭)
- ・ 教科等(中・高・特支のみ。例 数学, 音楽, 技術, 工業インテリア, 等)
- ・ 特別選考, 加点申請等(「〇〇〇特別選考」, 「加点申請」, 「大学院等進学希望者及び在学者の特例」)

### 同封する書類等

- |     |                                  |                                |  |
|-----|----------------------------------|--------------------------------|--|
| 全員  | <input type="checkbox"/> 願書      | <input type="checkbox"/> 履歴書   | <input type="checkbox"/> 試験結果通知用封筒(角形 2 号 両面テープ付き) |
| 該当者 | <input type="checkbox"/> 特別選考申請書 | <input type="checkbox"/> 加点申請書 | <input type="checkbox"/> 証明できる書類等の写し               |

## 試験結果通知用封筒(角形 2 号 両面テープ付き)の書き方



1 期日・日程等

(1) 期日

令和6年6月16日（日） 筆記試験(教職教養，教科専門)

(2) 日程

	8:20	8:50	9:10	10:00	10:40	11:30	12:10
小学校，特別支援学校(小学部)	受 入 室 完 了 付 了	説 明	教 職 教 養 (50分)	休 息 ・ 説 明	教科専門(90分)		
中学校，高等学校， 特別支援学校					教科専門(90分)		
中学校 [音楽，美術，保健体育] 高等学校 [芸術，保健体育] 特別支援学校(中学部) [音楽，美術，保健体育] 特別支援学校(高等部) [芸術，保健体育]					教科専門(50分)		
養護教諭，栄養教諭					教科専門(90分)		

※ 台風等により1次試験の日程・会場・内容等が変更になる場合はHPに掲載。

2 対象校種等及び試験会場

対象校種等	試験会場	
小学校 特別支援学校(小学部) 養護教諭，栄養教諭	第1会場	鶴丸高等学校 鹿児島市薬師2-1-1 (TEL 099-251-7387)
中学校 [音楽，美術，保健体育以外] 高等学校[芸術，保健体育以外] 特別支援学校(中学部)[音楽，美術，保健体育以外] 特別支援学校(高等部)[芸術，保健体育以外]	第2会場	甲南高等学校 鹿児島市上之園町23-1 (TEL 099-254-0175)
中学校 [音楽，美術，保健体育] 高等学校[芸術，保健体育] 特別支援学校(中学部)[音楽，美術，保健体育] 特別支援学校(高等部)[芸術，保健体育]	第3会場	鹿児島工業高等学校 鹿児島市草牟田2-57-1 (TEL 099-222-9205)
小学校 特別支援学校(小学部) ※ 県外受験希望者のみ	東京会場	オフィス東京 東京都中央区京橋1-6-8 コルマ京橋ビル (TEL 03-3567-5577)
	大阪会場	大和大学 大阪府吹田市片山町2-5-1 (TEL 06-6385-8010)

### 3 1次試験の内容等

- (1) 教職教養（教育法規，教育史，教育原理，教育心理，一般教養等に関する出題）  
全員受験 ※ 免除者を除く。
- (2) 教科専門  
第1希望の校種等毎の受験すべき教科・科目は次のとおり ※ 免除者を除く。

校種等		受験すべき教科・科目
小学校		国語・社会・算数・理科・音楽・図工・家庭・英語
中学校		採用を希望する教科
高等学校		採用を希望する教科等
特別支援学校	小学部	特別支援教育に関する教科専門 国語・社会・算数・理科・音楽・図工・家庭・英語
	中学部・高等部	特別支援教育に関する教科専門 採用を希望する教科等
養護教諭		養護に関する専門科目
栄養教諭		栄養に関する専門科目

### (3) 配点

	教職教養	教科専門		計
		教科	特支専門	
小学校，中学校，高等学校	100	200	－	300
特別支援学校	100	100	100	300
養護教諭・栄養教諭	100	200	－	300

### 4 1次試験合格発表（令和6年7月12日（金）予定）

合格者の受験番号をHP及び県教育庁教職員課前（県庁行政庁舎17階）に掲示。  
同日，受験者全員に結果通知等（合格者には2次試験の案内含む）を送付。

### 5 その他

鹿児島県公立学校教員採用選考試験の過去の試験問題等については，県政情報センター（県庁行政庁舎2階）において閲覧可能。

※ 県政情報センターの開館日，開館時間等は，下のHPアドレスから確認  
(URL) <https://www.pref.kagoshima.jp/ab04/kensei/joho/teikyo/e5032205-2.html>

## 第6 特別選考・加点申請・大学院等進学希望者及び在学者の特例

### 1 特別選考

要件を満たした申請者は，書類審査の上，1次試験の一部または全部を免除する。

- (1) 申請要件
- ・ P7～9の【申請要件・提出書類等】を参照
- (2) 申請手続
- ・ 申請は一つのみ。
  - ※ 「IV スポーツ・芸術特別選考」の申請者は，もう一つ申請可能。
  - ・ 希望する特別選考の申請書をHPからダウンロードし，出願書類に同封すること。
  - ※ 申請要件に関する証明書類等が必要な場合は，併せて同封する。
- なお，一部証明書類は，原本と照合するので2次試験時に持参すること（詳細は各申請書参照）。

【特別選考一覽】

◎一次試験免除 ○教職教養免除 ●教科専門免除

校種・教科等	選考区分	I 現職教員	II		III		IV スポーツ・芸術	V 大学推薦	VI 臨時的任用教員	VII 社会人	VIII 障害者	IX 教職大学院
			A	B	A	B						
			正規教職員経験者（3年以上勤務かつ5年以内退職）	正規教職員経験者（3年以上勤務）	英語 小学校・特別支援学校	英語 中学校・高等学校						
小学校		◎	◎	○	○			◎	○		○	○
中学校		◎	◎	○				◎	○		○	○
	音楽,美術,保健体育	◎	◎	○			◎	◎	○		○	○
	英語	◎	◎	○		●		◎	○		○	○
高等学校		◎	◎	○					○		○	○
	芸術,保健体育	◎	◎	○			◎		○		○	○
	英語	◎	◎	○		●			○		○	○
	情報,家庭,看護	◎	◎	○					○	○	○	○
特別支援学校（小学部）		◎	◎	○	○			◎	○		○	○
特別支援学校（中学部・高等部）		◎	◎	○	○			◎	○		○	○
	音楽,美術,芸術,保健体育	◎	◎	○	○		◎	◎	○		○	○
養護教諭, 栄養教諭		◎	◎	○					○		○	○

【申請要件・提出書類等】

		選考区分	申請要件	提出書類
I		現職教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>他都道府県又は政令指定都市の公立学校等（私立学校は除く）において、受験する校種及び教科（科目）等の<u>正規教員として令和6年3月31日時点で3年以上の勤務実績（休職、育児休業等の期間は含まない）を有し、かつ出願時から令和7年3月31日まで継続した勤務が見込まれ、令和7年4月1日からの勤務が可能なる者</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現職教員特別選考申請書</li> <li>学校保管の履歴書の写し（原本証明）</li> </ul>
II	A	正規教職員経験者	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験する校種及び教科（科目）等の公立学校<u>正規教員として通算3年以上の勤務経験（休職、育児休業等の期間は含まない）があり、かつ直近5年以内（平成31年3月31日以降）に退職した者</u></li> </ul> <p>※ 養護教諭，栄養教諭は校種を問わない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正規教職員経験者特別選考申請書A</li> <li>退職時の勤務校が保管する履歴書の写し（原本証明）</li> </ul>

		選考区分	申請要件	提出書類
II	B	正規教職員 経験者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受験する校種及び教科(科目)等の公立学校<b>正規教員</b>として通算3年以上の勤務経験(休職, 育児休業等の期間は含まない)がある者</li> <li>※ 養護教諭, 栄養教諭は校種を問わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規教職員経験者特別選考申請書B</li> <li>・ 退職時の勤務校が保管する履歴書の写し(原本証明)</li> </ul>
III	A	<b>英語</b> 小学校・ 特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校又は特別支援学校の受験者で, 志願する校種の普通免許状(取得見込みを含む)を有し, 次の各号のいずれかに該当する者</li> <li>※ 加点申請③,⑤との併用不可</li> <li>ア 中学校英語又は高等学校英語普通免許状保有者(取得見込みを含む)</li> <li>イ 「CEFR B2」相当以上の英語力を有する者 <b>P9別表を確認</b></li> <li>ウ 海外大学等で, 英語を使用した海外留学経験等が2年以上の者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>英語</b>小学校・特別支援学校特別選考申請書</li> <li>・ 証明できる書類等の写し</li> </ul>
	B	<b>英語</b> 中学校・ 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の全てに該当する者</li> <li>ア 中学校又は高等学校の「外国語(英語)」受験者で, 志願する校種の英語教諭普通免許状(取得見込みを含む)を有する者</li> <li>イ 「CEFR B2」相当以上の英語力を有する者 <b>P9別表を確認</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>英語</b>中学校・高等学校特別選考申請書</li> <li>・ 証明できる書類等の写し</li> </ul>
IV		スポーツ・ 芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の各号のいずれかに該当する者</li> <li>ア スポーツの分野において, 国際レベルの大会(オリンピック大会, アジア大会等)に日本代表として出場した実績を有する者及びその指導者</li> <li>イ 芸術の分野において, 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者</li> <li>※ 高等学校卒業以降の成績とする。</li> <li>※ 学校教育における指導上の効果等が期待される者</li> <li>※ 教員免許状を保有しない者(特別免許状発行見込みの者)が2次試験に合格した際には, 特別免許状発行の審査に必要な書類(「教育職員検定申請書」, 「人物・身体に関する証明書」, 「実務成績証明書」等)を提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ・芸術特別選考申請書</li> <li>・ 証明できる書類等(公式文書, 要項, 賞状, 新聞記事等)の写し</li> </ul>
V		大学推薦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿児島県教育委員会が指定した大学等が推薦する者</li> <li>※ 希望する者は, 所属する大学が指定されているかを学生課, 就職支援課等に確認し, 書類作成について相談のうえ, 大学推薦特別選考申請書を大学へ提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学推薦特別選考申請書の写し</li> </ul>
VI		臨時的任用 教員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出願時において, 本県公立学校の臨時的任用教員等として任用されている者で, 本県公立学校の臨時的任用教員等としての勤務経験が通算36月以上となる者</li> <li>※ 平成31年4月1日～令和6年5月1日(見込み)の勤務が対象</li> <li>※ 臨時的任用教員等とは, 臨時的任用の教諭, 助教諭, 常勤講師, 非常勤講師, 養護教諭, 養護助教諭, 栄養教諭, 実習助手, 寄宿舎指導員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時的任用教員特別選考申請書</li> </ul>



	選考区分	申請要件	提出書類
VII	社会人 (情報) (家庭) (看護)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の各号のいずれかに該当する者</li> <li>ア 基本情報技術者試験など「情報」に係る試験の合格者で、民間企業、大学・研究機関等において、情報システムの研究・開発業務等に3年以上従事した者</li> <li>イ 調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し、同法施行規則21条第1項の認定証書の交付を受けた者(専門調理師)、若しくは調理師の資格を持ち、調理師として3年以上の実務経験を有する者</li> <li>ウ 国公立又は民間の医療機関で看護師(保健師、助産師、看護学校等の教官を含む。)として3年以上の実務経験を有する者</li> <li>※ 教員免許状を保有しない者が2次試験に合格した場合は、特別免許状授与の審査に必要な書類(「教育職員検定申請書」、「人物・身体に関する証明書」、「実務成績証明書」等)を提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人特別選考申請書</li> <li>・ 資格や実務経験を証明できる書類等の写し</li> </ul>
VIII	障害者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の各号のいずれかに該当する者</li> <li>ア 身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳(1級～6級)の交付を受けている者</li> <li>イ 精神保健福祉法第45条に定める精神障害者保健福手帳の交付を受けている者</li> <li>ウ 都道府県又は政令指定都市が発行する療育手帳の交付を受けている者</li> <li>※ 「障害者特別選考申請書」の記載内容により、受験上の配慮を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者特別選考申請書</li> <li>・ 身体障害者手帳等の写し</li> </ul>
IX	教職大学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の全てに該当する者</li> <li>ア 既に教職大学院を修了している者、又は、令和7年3月31日までに修了予定の者</li> <li>イ 志願する校種・教科の専修免許状を所有する者、又は、令和7年3月31日までに取得見込みの者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職大学院特別選考申請書</li> <li>・ 修了証明書又は在学証明書</li> </ul>

<別表> C E F R B 2 ・ B 1 相当について ※H30年3月文部科学省公表の対照表による

主な資格	スコア	
	B 2 相当	B 1 相当
ケンブリッジ英語検定	160 以上	140 以上
実用英語技能検定	準1級以上	2級以上
GTEC (Advanced, CBT)	1,190 以上	960 以上
TEAP	309 以上	225 以上
TEAP CBT	600 以上	420 以上
TOEFL iBT	72 以上	42 以上
TOEIC L&R/TOEIC S&W※	1,560 点以上	1,150 点以上
IELTS	5.5 以上	4.0 以上

※ 「TOEIC L&R/TOEIC S&W」について

C E F R B 2 相当: 1,560 点以上 (TOEIC L&R+TOEIC S&W×2.5=1,560 点以上)

C E F R B 1 相当: 1,150 点以上 (TOEIC L&R+TOEIC S&W×2.5=1,150 点以上)

## 2 加点申請

申請を希望し、要件を満たすことが確認された者については、1次試験結果（教職教養及び教科専門）に加点される。

**※ 複数の申請を可とする。ただし、上限は50点とする。**

### (1) 申請要件

ア 該当する免許状や資格等を有する者

イ 取得見込みで申請する際は、令和7年3月31日までに確実に取得（免許状等写しの提出）すること。

※ 関係する免許状等が令和7年3月31日までに取得できなかった場合、加点を無効とし、あらためて合否の判定を行う。不合格の判定の場合、採用予定者名簿から削除する。

### (2) 申請手続

ア 「加点申請書」をHPからダウンロードし、出願書類に同封すること。

※ 証明書類等が必要な場合は、併せて同封する。

イ 免許状取得見込証明書を提出した者が2次試験に合格した場合、免許状取得後、写しを提出すること（提出の時期や方法については、2次試験合格後に指示する）。

### 【加点申請一覧】

※加点の上限は50点とする

加点要件	対象校種等及び加点						添付書類
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	栄養教諭	
① 受験する校種の普通免許状に加え特別支援学校の普通免許状を有する者	20	20	20	—	20	20	免許状の写し又は免許状取得見込証明書
② 複数教科の中学校教諭普通免許状を有する者	20	20	20	20	—	—	
③ 小学校教員普通免許状と中学校教員普通免許状をともに有する者	15	15	15	15	—	—	
④ 受験する校種・教科、職種の専修免許状を有する者	15	15	15	15	—	—	
⑤ C E F R B 1 相当の英語の語学力を証明する資格を有する者（P9別表参照）	10	—	—	10 小のみ	—	—	実施団体又は資格認定協会が発行する「証明書」や「認定証」等
⑥ C E F R B 2 相当の英語の語学力を証明する資格を有する者（P9別表参照）	—	10 英語以外	10 英語以外	—	—	—	
⑦ 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等の隊員として2年以上の派遣実績を有する者	10	10	10	10	10	10	国際貢献活動を証明できる書類等の写し
⑧ 「情報」の普通免許状を有する者（高等学校「情報」の受験者は除く。）	—	—	5 情報以外	—	—	—	免許状の写し又は免許状取得見込証明書
⑨ 司書教諭の資格を有する者	5	5	5	5	5	5	修了証書の写し
⑩ 学校教育キャッチアップ講座※（鹿児島大学主催）を受講し修了した者	5	5	5	5	5	5	履修証明書の写し
⑪ 養護教諭又は高等学校「看護」の受験者で、看護師又は保健師の免許証を有する者	—	—	15 看護	—	15	—	免許証の写し
⑫ 栄養教諭又は高等学校「家庭」の受験者で、管理栄養士又は調理師の免許証を所有	—	—	15 家庭	—	—	15	免許証の写し

※ 「学校教育キャッチアップ講座」は、主に潜在教員（いわゆるペーパーティーチャー等）を対象とした講座です。

### 3 大学院等進学希望者及び在学者の特例

大学院修士課程又は教職大学院（以下「大学院等」という。）への進学希望者又は第1学年在学者で、出願時に申請した者が鹿児島県教員採用選考試験に合格した場合、大学院等特例者名簿に登録し、修了予定年月日まで採用を最長2年間猶予する。

#### (1) 申請要件

- ア 修了予定年月日までに、大学院等を修了すること。
- イ 修了予定年月日までに、合格した校種・教科の専修免許状を取得すること。
- ※ 上記要件を満たさない場合は、大学院等特例者名簿から削除される。

#### (2) 申請手続

- ア 「大学院等進学希望者及び在学者の特例申請書」をHPからダウンロードし、出願書類に同封すること。
- イ 大学院第1学年在学者については、在学証明書を出願時に提出すること。
- ウ 大学院進学希望者は、大学院に合格した時点において、合格通知書の写しを提出すること。

## 第7 2次試験（面接・一部実技試験等）

2次試験は、1次試験の合格者及び免除者を対象に実施。

※ 日程等を含めた2次試験の詳細は、1次試験の結果通知時に知らせる。

### 1 期日

令和6年8月2日(金)から令和6年8月13日(火)までの指定された日(土日祝日を含む)

### 2 試験内容及び会場

	対象等	試験内容	会場(予定)
面接等	全受験者 ※ 小学校及び特別支援学校小学部受験者については、個人面接において、英語によるスピーチ(自己紹介等)を実施	個人面接 グループ討議 適性検査	鹿児島県総合教育センター 鹿児島市宮之浦町862
実技試験	中学校・高等学校・特別支援学校の家庭の受験者 ※ 社会人特別選考による受験者は免除	被服実技 (家庭)	鹿児島県総合教育センター 鹿児島市宮之浦町862
	中学校・高等学校・特別支援学校の英語の受験者 ※ 英語特別選考による受験者は免除	英語会話 (英語)	
	中学校・高等学校・特別支援学校の保健体育の受験者 ※ スポーツ・芸術特別選考による受験者は免除	実技 (保健体育)	甲南高等学校 鹿児島市上之園町23-1
	中学校・特別支援学校(中学部)の音楽、美術の受験者 高等学校・特別支援学校(高等部)の芸術の受験者 ※ スポーツ・芸術特別選考による受験者は免除	実技 (音楽,美術,芸術)	松陽高等学校 鹿児島市福山町573

### 3 配点

	個人面接	グループ討議	実技試験	1次教科専門	2次総点
小学校	200	200	—	—	400
中学校, 高等学校, 特別支援学校	200	200	—	200	600
中学校[音楽, 美術, 保健体育] 高等学校[芸術, 保健体育] 特別支援学校(中学部)[音楽, 美術, 保健体育] 特別支援学校(高等部)[芸術, 保健体育]			150	100	650
英語, 家庭			50	200	650
養護教諭, 栄養教諭			200	200	—

### 4 2次試験合格発表(令和6年9月6日(金)予定)

合格者の受験番号をHP及び県教育庁教職員課前(県庁行政庁舎17階)に掲示。  
同日、受験者全員に結果通知等を発送。

## 第8 採用予定者名簿への登載・採用

### 1 採用予定者名簿への登載

試験及び鹿児島県学校職員等健康診断諮問委員会の判定結果を基に、総合的に合格者を判定し、「Ⅰ区分合格者」「Ⅱ区分合格者」として採用予定者名簿に登載する。登載期間は、以下のとおり。

区分	採用予定者名簿登載期間
Ⅰ	名簿登載日から令和8年3月31日まで
Ⅱ	名簿登載日から令和7年3月31日まで

### 2 採用

採用は、採用予定者名簿から決定。

区分	採用
Ⅰ	原則として採用予定者名簿登載期間に採用する。
Ⅱ	採用予定者名簿登載期間内にⅠ区分合格者から辞退者が生じた場合は、順にⅠ区分合格者として名簿に登載し採用する。

※ Ⅱ区分で採用予定者名簿に登載された者で名簿登載期間内に採用がなかった者については、翌年度の選考試験で同校種・職種を受験する場合に限り、1次試験を免除する。

### 3 その他

- (1) 以下の項目に該当する場合、採用予定者名簿から削除し、採用を取り消す場合がある。
  - ア 教員免許状取得見込みの者で、令和7年3月31日までに教員免許状を取得できなかった者
  - イ 提出書類の記載や面接等における申告に事実と異なる内容があった者
  - ウ 教職員としてふさわしくない行為等があった者
- (2) 採用に当たって、日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師に任用する。

## 第9 給与・休暇・研修等

### 1 給与

学校職員の給与に関する条例等に基づき支給する。

- 令和6年1月31日現在、大卒の基準となる給料月額（教育職の場合）は「220,300円」。
- 上記の給料のほか、教職調整額、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当（4.50月分）、へき地手当（4～25%）等が、それぞれの手当支給条件に応じて支給される。

採用までの間に職務経歴等がある場合は、一定の基準で経験等を加味し給料を決定する。  
（例）大学卒業後、民間企業で正社員として5年間勤務していた場合 給料月額「246,300円」  
大学卒業後、民間企業で正社員として20年間勤務していた場合 給料月額「322,900円」  
さらに、この給料に応じた教職調整額のほか各種手当が支給される。

### 2 休暇等

学校職員の休暇の取扱いに関する規則に基づき様々な休暇を取得できる。

- 年次有給休暇は年度当初に20日付与され、次年度に最大20日繰り越し可（年間最大40日）。時間単位、半日単位の取得可。年次有給休暇のほか夏季休暇（5日）
- 産前・産後休暇の後、育児休業（子が3歳に達する日まで）。
- 介護休暇、看護休暇、ボランティア休暇、永年勤続休暇など。

### 3 研修等

教員一人一人が主体的に取り組み、その成果を学校の授業改善等に還元できる多様な研修を実施

- 採用予定者研修
- 経験年次等に応じた研修（フレッシュ研修、ステップアップ研修、パワーアップ研修）
- 短期研修・長期研修（総合教育センター）、教職大学院派遣研修などの希望研修など。

## 第10 試験結果の情報提供

1次試験，2次試験の不合格者は，試験結果の情報提供を求めることができる。

※ 原則対面。電話，電子メール等による情報提供は不可。

内 容	1次試験	○教職教養，教科専門の得点 ○1次試験の総合得点 ○綜合成績のランク
	2次試験	○1次試験における教職教養，教科専門の得点 ○2次試験の総合得点 ○実技試験（英語，家庭，保健体育，音楽，美術，芸術）の得点 ○綜合成績のランク
期 間	1次試験，2次試験とも合格発表の日から1か月間	
時 間	9：00～17：00（平日の12：00～13：00及び土日・祝日等を除く。）	
場 所	鹿児島県教育庁教職員課（県庁行政庁舎17階）	
持参するもの	「受験票又は試験結果通知」及び「本人であることを証明する書類（運転免許証，学生証等）」	

## 鹿児島県公立学校教員募集特設HP

鹿児島で「夢」をカタチに～子供たちとつくる未来～

本県教員採用に関する各種情報のほか，現職の先生方が「鹿児島の先生」の魅力伝える動画も掲載しています！ぜひ，ご覧ください。



（特設HPはこちらから）